

問1 肺に送られて二酸化炭素を出し、酸素をとり入れて、ふたたび心臓にもどるもののことを何とよびますか。

問2 小腸という器官では、おもにどのようなはたらきが行われていますか。

問3 ヒトが体の中から外へ吐き出す^{はきだす}空気のこと、吸う息に比べて酸素が減り、二酸化炭素や水（水蒸気）が多くふくまれているものを何といいますか。

問4 全身にはりめぐらされた血管の中を流れ、酸素や二酸化炭素、養分などを運ぶはたらきをしている液体は何ですか。

問5 食べ物に含まれる水分が、小腸や大腸で体の中に取り込まれる^こことを何といいますか。

問6 小腸で吸収された食べ物の養分は、何に入って全身に運ばれますか。

問7 タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。

問8 血液が心臓から送り出されて全身をめぐり、必要なものを運んで再び心臓へ^{もど}る一連の流れを何といいますか。

問9 かん臓が、体の中でできたアンモニアを^うり素につくり変えるのはなぜですか。

問10 かん臓でつくり出され、脂肪の消化を助けるはたらきをもつ消化液は何ですか。

問11 運動をしたときに、心臓が速く動くことによって、ふだんよりも数が増えるものはどれですか。

問12 肺に送られた血液が、二酸化炭素を出して酸素をとり入れたあと、この血液はどこへ向かいますか。

問13 心臓から送り出された血液が、全身に運ばれたときに、からだの各部分にわたすものは何ですか。

問14 ヒトが呼吸をするときに、まわりから体の中に吸い込む^{すいこむ}空気のことを何といいますか。

問15 運動をしたときに、ふだんよりも脈はく数が増えるのはなぜですか。

問16 血液から不要物をこしとるだけでなく、必要な物質を血液中にもどしたり、血液中の塩分や水分の量を調節して一定に保ったりするじん臓のはたらきを何といいますか。